

Welcome

ようこそ仏壇店へ

「永久仏壇」を販売して初めて 商売の原点が分かった

滝田商店・A Q 仏壇工房

仏壇・仏具店が立ち並び浅草通りの一角で、大正2年に創業した老舗の滝田商店（A Q 仏壇工房）が、同店オリジナルの「永久仏壇」の販売を開始してから約4年。「永久仏壇」の売れ行き状況や初めてオリジナル仏壇を手掛けてみた感想などについて、3代目の滝田雅敏社長に聞いた。



「会社の規模拡大のことはあまり気にならなくなった」と語る滝田雅敏社長

自分が欲しいと思う仏壇を製造

「永久仏壇」は、滝田社長の「自分が欲しい仏壇を造りたい」という願いから誕生したもの。そう願ったのは、平成12年、父である先代の社長が癌で亡くなった時。「自分の住まいにも仏壇を置いて、亡くなった父と対話がしたい」と思い、部屋に合った仏壇を店内で探したが、「仏壇屋なのに自分が欲しいと思う仏壇が無くて、ものすごくショックを受けた」。欲しいと思ったのは、「リビングにも合う小さくて本物の仏壇」。欲しいものが無いなら自分で造るしかないと考え、父の時代から手伝ってもらっている職人に相談。北米産ウォールナットの総無垢材を使用してスリ漆塗りし、しかも漆を何度もきれいに塗り直せるよう分解・組立が可能な仏壇を2年がかりで造りあげた。その仏壇の話を知った人たちに「それはいいね。自分も欲しい」などと反響が大きく、「これは皆さんにもご案内したら、ご要望があるのではないかと考え、「永久仏壇」と名づけ、4サイズを揃えて、平成15年から販売を開始した。



お客さんからの感謝が商売の喜び

——「永久仏壇」の売れ行きはいかがですか？

滝田 永久仏壇はホームページでしかPRしていませんが、北海道から九州まで全国から問い合わせや注文がきています。私と同じように本物の仏壇を探している人が、かなりいることが分かりました。

東京の浅草に店舗を構えていますから、以前の商圏は関東圏だけでしたが、永久仏壇は、例えば関西から、高い新幹線代を払って、時間を一日かけて来店していただけます。従来は考えられなかったことです。今のお客様は、本当に欲しいものであれば、



「永久仏壇」は、総無垢、スリ漆塗り、分解組立可能で、サイズはコンパクト。フローリングにも畳の部屋にも合う

「永久仏壇」は4サイズを揃えている



遠くからでも来ていただけるということが、初めて分かりました。

永久仏壇を試行錯誤で作りあげ、販売してみて、商売の原点を初めて分かったような気がしています。商品のことや販売姿勢、PRの方法など、ずいぶん勉強になりました。

——「商売の原点」とは、もう少し具体的に言いますと？

滝田 私は3代目なので、会社に入った時は、商品の在庫があり、お客さんもいらっしゃるというところから出発してしまっています。自分で本当に考えてモノを造ったのは今回が初めてですし、その思いを真剣に人に伝えようと思ったのも今回が初めてですから、そういう意味で商売の原点が分かったということですね。

——「永久仏壇」を販売されていて、ほかに発見したことや感じられたことはありますか？

滝田 会社の規模拡大ということが、あまり気にならなくなってきました。今までは、ほかの店はどれくらい売れているのかとか、売上高はどのくらいあるのかということなどを、非常に気にしていました。

それが、こちらが本当に勧めたいものを扱って、お客さんに気に入っていただくようになると、そういうことはどうでもいいことなのだと思うようになってきました。いい仏壇を勧めて、お客様から本当に「ありがとうございます」と感謝されますと、売

上数字の大小ではなくて、お客様から感謝されることが商売の喜びになるのですね。そういう意味でも、商売の原点が分かった気がしています。

——今後は、どのようなことをお考えですか？

滝田 やはりお客様の好みはさまざまですから、これからもいろいろな仏壇・仏具の開発を進めていこうと考えています。

ただ、100人が100人に気に入っていただくというのではなく、その商品を気に入ってくれた方に、ご来店いただき、ご購入いただくというところに力を注いでいきたいと思っています。皆さんが皆さんに気に入っていただくというのは無理な話なので、私が思っているコンセプトを含めて共感を持っていただける、そういうファンを地道に少しずつでも増やしていきたいと強く思っています。

——お忙しいところを、ありがとうございました。



滝田商店は銀座線田原町下車徒歩2分のところにある